

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	建築住宅担当課長	小林 肇
都整-23 住宅政策推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	建築住宅課
総合計画上の位置付け		分野	住宅・住環境	施策の方針
				鎌倉らしい住まいづくり

1 事業の目的

対象	市民
意図	若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者が暮らし続けることができる住宅政策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。
効果	人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

高齢者、障害者及び子育て世帯を対象に民間賃貸住宅への入居の支援を行った。 住宅の小規模改修工事への助成を行った。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	8,831	決算値(千円)	3,114	/
	国県支出金	3,911	国県支出金	906	
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	4,920	一般財源	2,208	
事業経費運営	人員配置数	2.0	人員配置数	1.4	/
	人件費(千円)	15,800	人件費(千円)	10,735	
	総事業費(千円)	24,631	総事業費(千円)	13,849	
	市民1人当りの経費(円)	139	市民1人当りの経費(円)	78	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	①若年ファミリー層の転入・定住促進により、まちの活性化や地域コミュニティの推進を図る。 ②「あんしん賃貸支援事業」では、高齢者のみを対象としているが、対象者を子育て世帯や障害者世帯へ拡大する。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	①住宅政策アドバイザーと第2次住宅マスタープランの進捗状況の検証を行い、次期住宅マスタープラン策定に向けた検討を行った。 ②「あんしん賃貸支援事業」の対象者を高齢者から、子育て世帯や障害者世帯へ拡大するため、関係団体と協議し実施した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	若年ファミリー層の転入・定住促進について、効率的で効果的な手法が確立していないので、具体的な施策を実施するまでは至らなかった。	

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
	市民等と協働して事業を展開しているか	△-1. 協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
	予算規模の方向性 <input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 空き家の有効な利活用を検討するため、空き家実態調査を行い、住宅政策を推進する。	

総評	「少子高齢化対策」、「良好な住環境」、「安全安心なまち」を中心課題とした住宅政策を展開し、良質な住宅と住環境を確保する。
----	--

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---